



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
 代表TEL：(0567)26-3921
 FAX：(0567)26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

<新年にあたり... / S・O・S>

新年 明けましておめでとうございます。

旧年中は温かいご支援、ご愛顧を心より御礼申し上げます。
 年頭にあたり、ここに今年の目標を掲げて、社員一同日々の仕事に励み、皆様と共に充実した一年を過ごせるよう努力致します。

～ 今年の目標 ～

地域社会から必要とされる会社であるため、

1. 安定した経営の維持・継続。
2. 介護サービスの質の向上と各事業の連携を深める。

その為には、良い人材の確保と社員一人一人の能力の向上を目指します。(介護技術の習得、介護に関する法や制度の学習、社会性を磨く人格形成など)そして、働く意欲を育てる職場環境作りに力を注ぎます。

具体的には3月末までに、事務所を増築し、事務作業の充実を図る予定です。また、社内研修の機会を増やし研鑽に努めます。

今年も皆様のご指導、御力添えの程、よろしく願い申し上げます。

株式会社 サポートワン・サービス 代表 飯尾淑子



初詣 / ナイス・デイ&ホーム

お正月、日差しが暖かく感じられたので体操を早めに切り上げて津島神社へ初詣に出かけました。神社の玉砂利は意外に歩き辛く、車椅子が進みにくいたので、足の達者な方が代表して神殿前で参拝することになりました。神様へ新年のご挨拶をした後は、皆さんが楽しみにしている休憩タイム。美味しく頂きました。今年も沢山体を動かし、地域の行事に参加し、生きる意欲が湧く様なデイになるよう頑張りましょう。「良い一年でありますように!!」



知らなきゃ学べ!! (パート20)

今回は介護保険法についてです。

これまでの約1年半にわたり、「知らなきゃ学べ」でお伝えてきた介護保険やそのサービスは、2000年4月から施行されている介護保険法(平成9年12月17日法律第123号)によって定められています。インターネット等でも見ることができますが、14章に分かれ全215条もあり、理解するにはとても難しい文章で書かれています。この介護保険法は3年ごとに介護報酬が改正され、5年ごとに制度自体の見直しを行うという決まりがあり、これまでも改正が行われています。

例えば、2006年に大きく変わった内容は、

- ・「介護予防」に重点が置かれるようになったこと
- ・施設の住居費用・食費や通所サービスの食費が自己負担になったこと
- ・地域密着サービスが登場したこと
- ・事業者の介護サービスの内容や運営状況についての情報公開の義務付け
- ・事業者指定の更新制(6年毎)などが挙げられます。



また、介護の予防や権利擁護の相談機能を持つ地域包括支援センターが新設されることにもなりました。小規模多機能居宅介護「ナイス・ホーム」は地域密着サービスの一環としてスタートしたものです。これらの内容は改正からすでに3年近く経っているので、皆さんにも浸透しているのではないのでしょうか。

今年の4月には介護報酬の改正がされ、今後も制度の見直しが行われていきます。詳しい内容は今後もその都度お知らせしていく予定です。改正が介護保険を利用する方々にとっても、また介護の現場で働く側にとっても、納得できる内容であればいいなと願っています。

歌う / ナイス・デイ

ナイス・デイの利用者さんには歌好きの方が多く、日曜日のお昼はNHKの「のど自慢」が大人気。普段でも演歌や唱歌を口ずさんだり、カラオケを楽しんだり、お風呂から気持ち良さそうに鼻歌が聞こえてきたりします。脳梗塞や脳出血等の後遺症で失語症といわれる方も大きく口を開けて声を出しています。ご家族から「昔は歌が上手だったのよ」なんて聞くと、もっと歌って欲しくなっちゃいます。今年も沢山歌いますよ。



元気にたくましく / 託児

これまで男の子が多勢を占めていた社内託児ですが、最近、女の子が少しずつ増えています。室内でピアノやお人形でおとなしく遊ぶ姿に「やっぱり女の子ね」と感心するのをつかの間、外に出て土の山を登り始めました。少しくらい転んでも、砂だらけになってもへっちゃら!「ここに来ると娘がどんどんたくましくなるような気がします...」とママ達の嬉しい(!?)悲鳴が聞こえてきます。



クリスマス&忘年会 / S・O・S

12月23・24日、ナイス・デイ、ナイス・ホーム、愛宕の家の合同でクリスマス&忘年会が開催されました。スタッフと子供達による桃太郎の寸劇、オカリナやハーモニカの演奏、スタッフ手作りの料理を楽しむ賑やかな会になりました。



利用者さんと子供達には「鶏のオープン焼き」と「いちごサンタ」が特に好評で「すごい」と拍手と歓声上がるほど。子供達は「毎日クリスマスだったら良いのに!!」、ある利用者さんは「わしは最近物忘れが多いから、毎日忘年会しなきゃいかんわ」と茶目っ気たっぷりに話し、笑いの渦が起っていました。



提案できるサービスを / ナイス・ケア

ナイス・ケアではヘルパー間の連絡や引継ぎが頻繁に行なわれていますが、最近、よく話題になるのはヘルパーから提案することについてです。私達は介護保険法に基づき、ケアマネさんの立てた居宅介護計画書とそれを基本に事業所が作ったサービス計画書に沿ってサービスを行っています。今年はもう少し前進し、利用者さんの体調の変化などを察知し、日々接しているヘルパーとして必要と感じることや改善点を、担当者会議の場等でケアマネさんや他の事業者さん、ご家族、ご本人に提案したり発言したりしていける私達でありたいと思っています。

合同で行事開催 / ナイス・ホーム

ナイス・ホームでは5名の利用者さんが毎日それぞれマイペースに過ごしています。でも、クリスマス会や外食等のイベントの日はナイス・デイの皆さんと一緒に楽しんだりお出かけしたりします。そんな時、ナイス・ホームの玄関には写真のような張り紙が出されます。



合同開催の日のご近所さんと一緒に過ごすような感覚があり、デイとホーム双方の利用者さんに良い刺激になっているように感じます。

愛知県調査 / 愛宕の家

12月半ば、「愛宕の家」の現地調査が行なわれました。県の高齢福祉課が行なっているもので、愛宕の家では初めてのことで、日頃の事業所の取り組みが間違っていないかと担当者はドキドキしながらその日を迎え、無事に終了した後は「ふ〜」と安堵のため息。今後は検討課題として指摘された部分を改善して、より良い有料老人ホームを目指していきます。1月初旬にはナイス・ケアとナイス・デイでも現地調査がありました。第三者からみて適正な運営がなされているのか...と調査の度に身が引き締まる思いです。

編集後記にかえて...今年の抱負

この通信を担当させていただくようになり、「伝えること」の難しさを感じています。上手く表現できないもどかしさを感じることもしばしば。歌うで紹介した失語症の方は、伝えたいことを声や動作で教えて下さいます。でも、そのことを的確に受け取っているかといえば...伝わらずもどかしい表情をされることも少なくありません。会話できる方とのコミュニケーションでも同様に、言葉だけでなく表情や空気を気持ちよく汲み取ることの難しさを感じます。今年では「伝える」と同じように「感じ取ること」を大切にしていきたいです。今年もよろしく願います。